

運営推進会議記録

開催日時	平成28年5月31日(火)	場所	洗心会				
	13時30分～14時30分		本部会議室				
参加者	ケアセンター管理者 佐藤(議長)、ケアセンター・グループホーム介護支援専門員 菊田、 グリーンホーム施設長 木下、グリーンホーム介護支援専門員 古賀(悠)(書記)、ライフ 介護支援専門員 山口、小山市高齢生きがい課 菅原様、地域包括支援センター桑絹 春田 様、桑絹老人クラブ 岸本様、グリーンホーム入居者家族 塩澤様、ケアセンター利用者 松 鳴様、グループホーム利用者中田様、グリーンホーム利用者大蔵様 ※民生委員 大島様、 ケアセンター利用者家族 井澤様、グループホーム入居者家族 濱様は都合により欠席						
活動内容及び回数等 ※別紙 運営推進会議資料参照							
<p>1. 開会あいさつ</p> <p>佐藤) ただ今より、平成28年度第1回運営推進会議を始めます。</p> <p>※第1回の為、参加者全員の自己紹介を行う。</p> <p>2. 管理者あいさつ</p> <p>佐藤) 本日はお忙しい中の参加、誠に有難うございます。今年度は5月1日より、キッズランドがオーブンとなった。まだまだ来場者が少ない状況なので、イベントを催したり、団体客を受け入れたりといった案を考えているので、皆様の方からも何かお力添えがあればと思います。また、グループホームの方も昨年オーブンして1年が経過した所であるが、先日小山市の方から実地指導に入り、状況を見て頂いた所である。2年目に入り、更なる向上をめざし一丸となって進んでいきたいと思うので、意見等あればお願ひします。</p> <p>3. 協議</p> <p>1) サンフラワーグリーンホームの活動内容報告及び評価・助言等</p> <p>古賀悠) グリーンホーム運営推進会議資料読み上げにて説明 御意見・御質問等あれば宜しくお願ひ致します。</p> <p>菅原) (職員の腰痛、及びそれに伴う靭帯損傷の労災事故の報告を受けて) 制度改正あまり軽度の方は入居し辛くなり、そうすると必然的に重度者の割合が多くなってしまうかと思う。その結果、介護職員の負担が増えているという話を聞いたが、どうか。</p> <p>古賀悠) 確かに要介護3～5の方が増えてきており、その分移乗や移動に負担は生じている。現在、就業前に腰痛予防体操を行い、腰痛予防に努めるようしている。また、もし現在腰痛があるという職員に関してはすぐに報告し、介助に支障をきたすようであれば他職員に介助を代わってもらい、悪化はさせないように、という話はしている。</p> <p>塩澤) 自分の家族の事で申し訳ないが、母のベッドはいつも片側(頭側)だけ柵がしてあるが、最近自力で端座位になってしまったことが増えてきた。転落の恐れがあるのだが、もう1つ(足側)の柵をするというのはできないのか。</p> <p>古賀悠) I様(塩澤様ご家族)の場合、右半分は壁に面している。その状態で左側の両方に柵をしてしまうと、ベッドからの出口が全て塞がれてしまい、身体拘束という形になってしまう。なので、足側の柵はせずに、マットレスやセンサーマットを敷くといった方法で対応している。</p> <p>木下) 施設での事故防止策として、ベッドは最低床にしてあり、もし転落してしまった場合の対策と</p>							

してマットレスを敷き、よりリスクを軽減させている。また、I様の場合柵に頭を打ちつけてしまうというリスクもあるので、現在柵そのものに保護もしてある。本人の状況に応じて対策も臨機応変に変えていかなければならない。

2) サンフラワーケアセンターの活動内容報告及び評価・助言等

菊田) ケアセンター運営推進会議資料読み上げにて説明

御意見・御質問等あれば宜しくお願ひします。

菅原) 昼食前の誤嚥予防体操とあるが、どのようなことを行っているのか。

菊田) 肩の上げ下げから始まり、上半身の筋肉をほぐしている。また、口の運動として発声練習を行っている。

菅原) そうすると飲み込む力が強くなり、間違えて肺に入っていくようなことがなくなるのか。

菊田) そういう効果を期待している。起きてきて急に飲んだり食べたりする前の準備運動のようなものである。

佐藤) 補足として、老人部門では誤嚥予防の研修を受ける際に誤嚥予防の体操の説明もしている。ケアセンターだけでなく、他の老人部門の施設も食事前に同じように体操をしている。

佐藤) 訂正として、職員動向の4月25日付けの職員は常勤ではなく非常勤である。

佐藤) ケアセンターの利用状況として、定員25名のところ登録者19名となっている。登録に空きはあるが、通いの定員が月曜から土曜まで、ほぼいっぱいの状況である。日曜日に関しても9名という状況であり、新規の方を受け入れるのが難しい。入居待ちで長期泊まりで利用している方もおり中々難しい状況ではあるが、調整しながら進めていくので何かあれば相談してほしい。

3) サンフラワーグループホームの活動内容報告及び評価・助言等

御意見・御質問等あれば宜しくお願ひします。

佐藤) 補足として入居者の利用状況のところで、5月24日に新たに1名入居し、9名の満床となっている。ただし、現在入居待機者がいない状況なので、グループホームの相談があれば、その都度ご相談頂ければと思います。また、事故の是正について1対1という漢字が1体1となっていたので訂正お願ひします。

菅原) 先日実地指導でお邪魔させて頂いた。基本的にグループホームについては環境や体制が利用者様が安心してサービスを使える環境にあるということで、とても良かったと思う。プランも1人1人に則したものとなっていた。

4) 地域福祉推進の為の情報提供

岸本) 今回の定例会で介護保険の一部改正についての小山市の出前講座を受ける予定である。現在は介護保険を受けていないが、もし体が弱ったときにどこに相談したら良いのか、どれ位だったら介護保険を受けられるのかといった質問をしたい、という話があった。

菅原) 先程話があった小山市の出前講座で、介護保険の現状と小山市の状況、介護保険の仕組みについて実際に介護サービスを受けたい時にどのような段取りを踏んだら良いのかという講座を上出井さわやか会にて行う予定である。今年度の運営推進会議の委員に民生委員の方はいますか。

佐藤) いるが、本日は都合により欠席となっている。

菅原) 福祉課の職員から聞いたが、今年は民生委員制度が創設されて100周年という年になっているとのことだった。

菅原) 3月24日に、地域密着型の事業所を50事業所招いての集団指導を市役所にて行った。内容としては昨今問題となった虐待についてである。施設の虐待が昨今増えており、県の高齢対策課の職員を招き施設の虐待の研修会を行った。また、自宅での要介護者への虐待も引き続き見られている為、そちらは高齢者サポートセンターの社会福祉士に依頼し、研修会を行った。また、介護施設による送迎事故も宇都宮市と小山市にて発生している為、小山警察署の交通課の方を招き、交通事故防止の研修を行った。同様に介護施設での火災事故も問題となっている為、小山消防署の予防課職員を招き、防火に関する講話をした。来年も同じ3月24日を予定し、同様の集団指導を開催する予定である。

菅原) 段々暑くなっている為、熱中症や食中毒に注意して欲しい。また、事故関係として誤薬と転倒については、なるべく減らす方向で取り組んで頂けたらと思う。あと、これはお願いになってしまふのだが、新小山市民病院から話があり、緊急搬送の際に医療保険証と介護保険証に加え、ケアマネジャーの名刺も欲しいとのこと。要介護者が救急搬送になった場合、その方の情報を一番持っているのがケアマネジャーである為、早い対応が取れるとのことだった。

春田) 高齢者サポートセンターより1点、小山市では4月から要支援1、2、要支援になりそうな方を対象に、新総合事業として介護予防に取り組むという制度が始まった。総合事業ではチェックリストの26項目の質問事項に答えて頂き、該当項目が一定基準以上に達すると事業が使えるという制度になっている。使えるものというのはデイサービスとヘルパーである。この2事業については介護保険の認定を受けずに、チェックリストを行うだけでサービスの利用が開始できる。デイサービスは8月からフル稼働の予定だが、今までのデイサービス、今までのヘルパーは現行相応という形で残るが、そこまでのサービスは必要ないという方が結構多い。そういう方に対して6~8割に給付単価を抑えた事業が設定されている。利用者様側のメリットとしては、チェックリストに答えるだけなので、すぐにサービスを利用できること、利用金額が抑えられるかもしれない、ということが挙げられる。また、介護保険の要支援の認定だと利用回数が制限されてしまうこともあるが、総合事業対象であれば本人の必要性に応じて回数が決められることがある。一度介護保険の認定を受けてしまうと、取り下げることが出来ないので、申請の際には本人や家族と共に熟慮して、総合事業の利用も検討して頂きたい。福祉機器のレンタルや住宅改修が必要な場合は総合事業では対応できないので、そういう場合は介護保険を利用して頂ければ、と思う。

5) その他

菅原) 先程話された総合事業に関しては、色々な経緯があって立ち上がってきた。現在小山市では要介護認定者が6,000名程となっており、介護認定も中々追いつかないのが現状である。重度の方は慎重に、精度を高めて判定を出しが、軽度の方で手軽に何か介護予防サービスに繋げたいという方がいれば、時間のかかる介護認定のプロセスを経ない総合事業を利用して頂けたらと思う。将来的には、もっとインフォーマルサービスの資源を発掘して、給付プラン以外にも案内できるようになる事を見込んでいる。一方で担い手不足という問題も生じている。後期高齢者が毎年増える一方であるのに対し、生産年齢人口はずっと下がっている。介護職員の方も減り続けている。少ない専門家をどう使うかとなれば、重度の方を専門にしなければならない。逆に元気な高齢者の方は、役目を持って元気に生活していくようになればと思う。老人クラブ等が居場所となり、また居場所となる事でそれが見守りにも繋がるので、老人クラブさんには引き続き頑張っていって欲しいと思う。

4. サンフラワーケアセンター外部評価結果報告

佐藤) 資料読み上げにて説明

御意見・御質問等あれば宜しくお願ひします。

菅原) まとめの時に大変だったかと思うが、やってみると問題が可視化されて良かったのではないか。

振り返りのプロセスでも職員全員から意見が出され、結果的にはやって良かったのではないかと思う。

佐藤) 昨年準備期間が遅かったので、今年度からは毎年決まった月でやっていこうと計画している。

皆様にはまた評価等でご協力いただくことになるかと思うが宜しくお願ひします。

5. サンフラワーグループホームの外部評価結果報告

御意見・御質問等あれば宜しくお願ひします。

佐藤) 資料読み上げにて説明

菅原) (ケアセンターの入浴設備を使っているという指摘事項に関して) グループホームのお風呂を使うのは出来そうか。

佐藤) 取り組み始めています。

菅原) グループホームというのは1つのユニットであり、家であり、家族である。なるべくなら家のお風呂で、個浴で入って頂きたい。

6. 閉会

菊田) 以上で、平成28年度第1回の運営推進会議を終了させて頂きます。お忙しい中ありがとうございました。

事業所名 社会福祉法人 洗心会 サンフラワーグリーンホーム	記録作成日 平成28年6月4日	記録作成者 介護支援専門員 古賀 悠斗
-------------------------------------	--------------------	------------------------